



本年三月、醍醐寺所蔵の肖像画の内五幅が重要文化財に指定されることになりました。

これらは醍醐寺の座主を描いたもので、室町時代に足利將軍家の信頼を得ていたとされる満濟准后や、豊臣秀吉と親交を結び、その援助を受けて五重塔の修理や金堂の再建を実現した義演准后ほか、義賢准后、義堯僧正、覚定僧正の肖像画です。この五幅は時期を隔て個別に制作されたにも関わらず、ほとんど同じ像容であらわされており、非常に強い一体性を示しています。

本展では、醍醐寺が所蔵する肖像画二二〇件余の中から、今回新たに重要文化財に指定される五幅と、それに関連する文書等をご紹介します。あわせて、名仏師快慶作ともされる「水晶宝龕入り阿弥陀如来立像」や国宝の絵画「文殊渡海図」等、醍醐寺歴代座主が祈りの中で伝承してきた寺宝の一部を公開します。

また、今春、会期中で公開終了となりました浜田泰介画伯の作品も再び展示いたしますので、ご堪能ください。



水晶宝龕入り阿弥陀如来立像



浜田泰介筆 塔と桜



文殊渡海図〈国宝〉



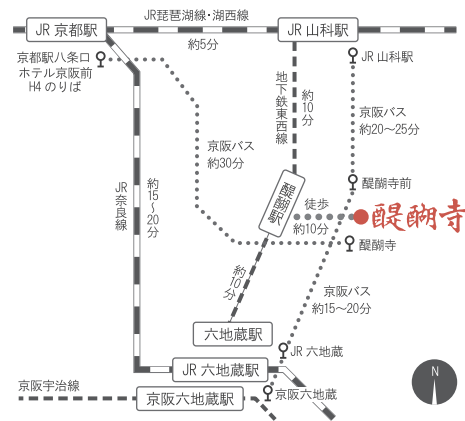
如意輪観音坐像〈重文〉

拝観案内

- 午前9時～午後5時（受付終了は閉門30分前）
※休館日なし。ただし、行事等の都合により変更の可能性あり。
- 霊宝館秋期特別展へのご入場には、
文化財維持寄付金として500円以上のご寄進をお願いしております。
※醍醐寺拝観料は大人1,000円、中高生700円

交通案内

- 市営地下鉄東西線「醍醐」駅下車 ②番出口より徒歩約10分
- 京阪バス22/22A系統「醍醐寺前」、301系統「醍醐寺」下車すぐ



總本山 醍醐寺

〒601-1325 京都市伏見区醍醐東大路町22
Tel. 075-571-0002 <https://www.daigoji.or.jp/>

新型コロナウイルス感染症の状況等により、予告なく展覧会の中止や会期の変更、入場制限を行う場合がございます。最新情報は当寺ホームページでご確認ください。